

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 旭化成株式会社（証券コード:3407）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
発行登録債予備格付	AA

### ■格付事由

- 総合化学大手。マテリアル（環境ソリューション、モビリティ&インダストリアル、ライフイノベーション）、住宅（住宅、建材）、ヘルスケア（医薬・医療、クリティカルケア）といった幅広い領域で事業を展開し、各セグメントで競争力のある有力製品を多数手掛ける。近年、成長領域への経営資源集中や石油化学チェーン関連事業の構造転換などを通じ、事業ポートフォリオの変革を推進。こうした方針に沿って住宅やヘルスケアでは継続的にM&Aを実施しているほか、エチレン設備については同業他社と共同で原燃料転換等の検討が進められている。
- 業績は順調に回復しており、当面、堅調な推移が予想される。マテリアルは基盤マテリアルで厳しい事業環境が続いているものの、カーボンニュートラルや業績のボラティリティ抑制に向けた諸施策が進みつつある。また、セパレータやデジタルソリューションなどでは、主力製品を中心に事業基盤の強化が図られている。住宅は商品力や海外事業の強化などを背景に安定収益源としての厚みが増し、ヘルスケアも積極的なM&Aを通じ収益力が強化されてきている。成長投資負担で有利子負債は増加傾向となっているものの、財務規律を重視した投資判断が徹底されている。当面、強固な事業基盤が揺らぐ懸念は小さい。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを「安定的」とした。
- 事業環境の悪化で業績は23/3期に悪化したが、24/3期に反転。25/3期会社計画では営業利益1,800億円（前期比27.9%増）を予想、前期に続き全セグメントで増益を見込む。マテリアルは石化市況の改善などで基盤マテリアルが黒字転換を予想するほか、デジタルソリューションなどの堅調な推移がプラス要因となる。住宅は資材価格上昇が響くが、物件の大型化・高付加価値化や不動産の賃貸管理事業の拡大などがカバーする。また、ヘルスケアは各事業における主力製品の数量増加が増益に寄与する見込み。足元の業績も全体として順調に推移している。
- 24/3期末のネットDERは0.32倍（23/3期末0.41倍）と財務構成は健全である。有利子負債は直近でボトムとなった18/3期末3,012億円に対し、24/3期末では9,000億円台前半に増加している。一方、着実な利益蓄積で24/3期末の自己資本は1.8兆円となっており、業績変動や投資負担に対し、相応のリスク耐久力がある。セパレータの設備増強や医薬品のM&Aなどで25/3期末にかけて有利子負債の増加が予想されるが、底堅いキャッシュフロー創出力があることやこれまでの財務運営実績などから見て、財務リスクが高まる懸念は小さいと考えられる。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

### ■格付対象

発行体：旭化成株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年9月6日	2029年9月6日	0.210%	AA
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	100億円	2020年6月19日	2025年6月19日	0.120%	AA
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年6月19日	2030年6月19日	0.280%	AA
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年12月9日	2024年12月9日	0.001%	AA
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年12月9日	2026年12月9日	0.090%	AA
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年12月9日	2031年12月9日	0.240%	AA
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2022年12月7日	2025年12月5日	0.230%	AA
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2022年12月7日	2027年12月7日	0.410%	AA
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2022年12月7日	2032年12月7日	0.669%	AA
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2023年12月5日	2026年12月4日	0.400%	AA
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	200億円	2023年12月5日	2028年12月5日	0.548%	AA
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2023年12月5日	2030年12月5日	0.869%	AA
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2023年12月5日	2033年12月5日	1.232%	AA
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	2,000億円	2024年5月19日から2年間		AA	

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年10月18日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「化学」(2022年6月15日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 旭化成株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル